

第1章 業務の概況

1. 総 説

この第6集は、昭和28年中に行つた試験検査及び生産の成績を纏めてこれを年報とし、また第5集発行以後において所員の物した調査研究報告のうち本年2月において「特報3」として発表した“北海道各地に発生したボトリヌス食中毒について”及び「特報4」の“禮文島の地方的寄生虫病一多房性エヒノコックス症一について”の2篇を除いた8篇を掲げた外前号に収録した以後の所務の概要を記録して他日の参考に資することとした。

(1) 業務の擴充及び幹部職員の異動

本研究所は、道唯一の総合衛生技術機関として保健衛生に関する技術面を担当し行政上に科学的裏付けをする建前になつているので、28年10月からは従来本庁衛生部で直接取扱つていた食品衛生法に基く試験検査並びに薬事法に基く試験検査の技術面についてもこれを移管され、ここにはじめて完全なる総合機関としての実を示すに至つた訳である。これに伴つて職員定数において吏員3人を増員され同時に従来本庁員としてこれらの試験検査業務に従事していた吏員を当研究所に移されたが一面経費節約の一般方針によつて2人を減員されたので結局定員は45人となり従来に比し1人の増加に過ぎない訳である。

この年8月衛生部において次長制を布き、各課の首席主事を次長と改め同時に大中の異動を行われた際、当研究所開設以来庶務課長の職に在つた土谷主事が幌西療養所庶務課長に転任して、本庁薬務課首席主事の小野今朝松が後任の庶務課長となり、また9月には缺員中であつた食品化学科長として本庁環境衛生課乳肉衛生係長勤務の栗城篤治技師が就任し、10月には開所以来缺員中であつた薬学科長として厚生省医務局北海道出張所勤務の厚生技官東大薬学科出身の岩本多喜男が技術吏員に任用されて赴任した。また本年1月には疫学科長として当研究所技師併任の安保北大教授が同大学医学部長の本務多忙のため辞任申出でにつきこれを承認して疫学科付とし後任疫学科長としては従来科付であつた嘱託員の山田守英（北大教授）を昇任した。

(2) 試験検査及び生産

28年中において施行した試験検査の取扱件数は、92,477件であつて前年に比し実に8割6分余の激増を示した。これは千歳駐屯保安隊の委託によつて、多数の腸チフス及びパラチフスの菌検索を行い、また道において前年来試験的に施行していた輸血用の血液製剤の製造を、本年に入つて本格的に行ふこととなり、血液銀行を設置したので当所においてその血液検査を引き受けた結果であつて、これ等細菌及び血清関係の検査件数は、全体の9割5分を占め、これに亘くものは、化学関係の3分6厘、食品衛生関係の1分3厘であつて環境衛生関係はその部門の性質上最少の率を示している。

また28年中に生産した診断用製剤は、チフス、パラチフス診断用アンチゲン4,840cc、チフス、パラチフス、赤痢等の診断用家兎免疫血清2,647cc、ワツセルマン反應用アンチゲン、乾燥補体等452cc、赤痢サルモネラ菌株等493cc、合計8,432cc及び結核培地20本であつて、保健所その他一般

の需要に応ずると共に衛研自体の検査用に使用している。

(3) 技術者の指導養成及び所員の研修

28年中に実施した保健所等に勤務する技術者の再教育は、一般細菌に関するもの27名、血清検査に関するもの8名、水質検査に関するもの4名合計39名であり、また初心者の養成は、細菌技術者9名、血清検査技術者2名計11名であつてその養成期間は、細菌検査技術は6ヶ月、血清検査技術は2ヶ月乃至3ヶ月としているが、この外本庁及び保健所の希望によつて職員を随時道内に派遣して実施指導を行つている。

また本所員のための研修会は、前年来引き続き毎月開催しているが、その後今日までにおける開催回数及び演題等は次の通りである。

第15回 昭和28年4月23日

1. 狂犬病について

神 沢 技 師

第16回 昭和28年5月21日

1. 新潟医大における細菌学会及び東京における全国細菌技術者総会等の状況

中 村 所 長

第17回 昭和28年7月9日

1. 食品のカビ及び防黴について

小 笠 原 技 師

2. 東北北海道地区衛研協議会の状況等について

中 村 所 長

第18回 昭和28年8月6日

1. 日本脳炎の血清学的検査法について

飯 田 技 師

2. 感応錠を以てする淋菌の各種抗生物質に対する感受性について

中 川 技 師

第19回 昭和28年9月24日

1. 嫌気性培養の一考察

神 沢 技 師

2. ボトリヌスE型菌毒素産生用培地について

佐 伯 技 師

3. 全国衛生研究所協議会の状況等について

中 村 所 長

第20回 昭和28年11月19日

1. 余市町湯内部落における井戸水の鉍毒による影響について

岡 田 技 師

2. 恵庭駐屯の保安隊に発生した所謂集団食中毒及び集団赤痢について

中 川 技 師

3. 山形で開催された東北北海道地区衛研協議会の状況その他について

中 村 所 長

第21回 昭和28年12月17日

1. 街娼婦の膣より分離した大腸群について

大 屋 技 師

2. 飯ずしとボトリヌス中毒について

中 村 所 長

第22回 昭和29年1月28日

1. 発熱性物質試験法について

岩 本 薬 学 科 長

2. ブドー球菌による食中毒について

飯 田 技 師

第23回 昭和29年2月19日

1. 微生物によるビタミン合成について

小 笠 原 技 師

第24回 昭和29年3月18日

1. ビリヂン系化合物の生体内変化について

岩本葉学科長

2. 厚生省主催の全国衛研所長会議の状況等について

中村所長

第25回 昭和29年4月22日

1. 昭和28年夏小樽地方に流行した多発性髄膜炎様疾患の検索について

寒河江技師

2. 第74回日本葉学会の状況について

岩本葉学科長

(4) 調査研究

この年における調査研究事項の主なるものは、ボトリヌス中毒発生例の検索、多房性エヒノコックス病の血清診断としての補体結合反応、発熱性物質の検出に関する研究、昭和27年度本道において流行したインフルエンザのウイルス分離、菌の抗生物質感受性測定法としての濾紙法と感応錠との比較（淋菌及び連鎖球菌についての実験）等中央或は地方の学会等に発表して世の注目を惹いたものも少くないが就中去年28年5月岩内郡島野村に起つた食中毒の原因究明によつて、わが国最初のボトリヌス菌E型を発見して以来4度目の発生例である28年10月佐呂間町に起つた“鰯いずし”による食中毒もまた同じくボトリヌスE型菌毒素によるものであることが判明した事と、27年末旭川厚生病院から提供を得て検索した禮文島出身の患者の剖検による肝病変部から定型的なエヒノコックス頭節を発見し、次いで28年6月第5回目の現地調査において猫57匹を剖検し、その1匹の腸管に比較的完全なエヒノコックス成虫を、又他の1匹の糞便内に成虫の終節と多数の虫卵を発見した事は共に近來の快心事として宰記したいと思う。

2. 予 算

昭和29年度における歳入歳出予算は次の通りであつて、前年度に比し歳入にあつては6,414,500円、歳出にあつては5,376,400円の増加を示しているが、これは新たに注射液等の発熱物質試験の実施及び細菌検査車の新設を目論見、また第1節に述べた食品衛生法及び葉事法による試験検査業務の全面的管掌等による業務の拡大によるものである。

なお職員の給料手当等の人件費は、共通行政費として本庁直接の経理に属し、この予算には含まれていない。

昭和29年度事業費歳入歳出予算

歳 入							
疫学検査手数料	化学検査手数料	薬品売払代金	不用品売払代金	国庫補助金	計		
3,185,000	2,701,000	995,000	250,000	1,498,500	8,629,500		
歳 出							
費目(節)	事業名(目)	本所費	疫学検査費	化学検査費	診断製剤製造費	調査研究費	計
旅員手当	費	941,000	642,000	780,200	230,400	206,400	2,800,000
雑手当		364,000	-	-	-	-	364,000
賃金		216,000	228,000	78,000	78,000	-	600,000
消耗品費		112,000	135,000	295,500	-	-	542,500
		1,287,200	1,354,700	1,401,600	263,200	148,600	4,445,300

燃 料 費	500,000	100,000	-	-	-	600,000
食 糧 費	82,600	-	20,000	29,400	18,000	150,000
印 刷 製 本 費	560,000	-	-	-	-	560,000
光 熱 水 費	516,000	-	-	-	-	516,000
通 信 運 搬 費	175,000	-	20,000	-	5,000	200,000
廣 告 料	50,000	-	-	-	-	50,000
借 料 及 び 損 料	29,600	-	-	-	-	29,600
修 繕 料	564,400	144,000	251,000	136,000	20,000	1,115,400
備 品 費	447,200	1,787,800	813,800	115,000	52,000	3,215,800
原 材 料 費	-	78,000	78,000	143,000	50,000	413,000
負擔金補助及び交付金	15,000	-	-	-	-	15,000
合 計	5,860,000	4,533,500	3,728,100	995,000	500,000	15,616,600